

年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

三味一体(世界バランス55MU)

2023年度 特別勘定の現況

●投資環境(2023年度)

日本株式市場

当年度の国内株式市場は上昇しました。年度初は、円安による企業業績拡大への期待や東証がPBR（株価純資産倍率）1倍割れの企業に対して資本効率の改善を求めたことが好感されて、国内株式市場は上昇しました。その後、利益確定売りによる一時的な下落局面を挟みながらも米国長期金利の先高観の後退などを背景に、国内株式市場は堅調に推移しました。年度後半に入ると、米国においてインフレ率の高止まりから金融引き締め長期化への懸念が高まったほか、中東の地政学的リスクや日銀の金融政策変更への警戒感などから一旦は売りが優勢となったものの、その後は、金利上昇への過度な警戒感が緩和されたことから、国内株式市場は再び上昇に転じました。2023年末にかけては、為替が円高に動いたことなどを背景に、国内株式市場はボックス圏での推移となりましたが、2024年に入ると、再度円安に転じたことや新NISA開始に伴う資金流入など良好な需給環境への期待などを背景に大きく上昇して当年度を終えました。

外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度初、米国CPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化傾向にあったことなどからFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ懸念が後退したことや、2023年4-6月期の企業決算が事前予想をおおむね上回ったことで景気減速懸念が後退し、外国株式市場は上昇しました。年度半ば以降は、大手格付会社が米国の国債や銀行の格付を引き下げたことを受けて金融システムの健全性への懸念が高まったことや、中東で地政学的リスクが高まったことなどから、外国株式市場は下落したものの、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利が据え置かれ、また2024年内の複数回の利下げが示唆されるなどインフレ鈍化を背景とした各国中央銀行による緩やかな利下げが視野に入りつつあり、世界経済を下支えするとの期待から、年度末にかけて上昇基調となりました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。根強いインフレ圧力を背景に、欧米中央銀行が政策金利の引き上げを継続し、世界的に国債利回りが上昇したことを受けて、日本の10年国債利回りも年度初から上昇しました。2023年7月の日銀金融政策決定会合では長期金利の変動許容幅を±0.5%程度を目途とするなど、YCC（イールドカーブ・コントロール）政策の柔軟化を決定し、10月にも指値オペの水準に関して1.0%を目途とするなど、さらなる柔軟化を図ったことから、10年国債利回りは一時0.9%台まで上昇しました。その後は、欧米中央銀行の年内利下げが意識されるなかで10年国債利回りは一時0.6%を下回りましたが、堅調な春闘による賃上げの結果が発表されたことや2024年3月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除とYCC政策の撤廃などが実施されたことを受けて、年度末にかけて再び上昇して当年度を終えました。

外国債券市場

米国債利回りは上昇しました。年度前半は、米国の地方銀行の破綻を受けた金融システム不安が後退したことや堅調な経済指標を背景としたFRBの金融引き締めに積極的な姿勢を受けて米国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、米国で雇用統計やCPIに落ち着きが見られたことを背景にFRBによる金融引き締め姿勢が後退したことから、米国債利回りは低下しましたが、年度末にかけては堅調な経済指標が確認されたことやFRB高官の早期の利下げに対する否定的な発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは当年度を通じてはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、資源価格の高騰などを背景に欧州域内でのインフレが高進するなか、ECB（欧州中央銀行）が金融引き締め姿勢を維持したことから、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、ユーロ圏の経済指標が軟調であったことや米国債利回りに連動してドイツ国債利回りは低下しましたが、年度末にかけてはECB高官の早期利下げ期待を牽制する発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円為替レートは、円安米ドル高となりました。年度前半は日銀が金融政策を修正しつつも金融緩和姿勢を維持した一方、FRBは金融引き締め姿勢を継続したことから、日本と米国の金利差が拡大し、円安米ドル高基調で推移しました。その後、FRBの金融引き締め姿勢が後退したことや、日銀による金融政策修正への期待が高まったことから日米金利差が縮小し、円高米ドル安となる局面もありましたが、年度末にかけて、堅調な米国の経済指標を受けて米国債利回りが上昇したことや、石川県能登半島地震の影響から日銀による金融政策修正への期待が後退したことなどを背景に、再度円安米ドル高が進行しました。ユーロ円為替レートは、インフレの高進を受けてECBが金融引き締め姿勢を継続し、政策金利を高い水準で維持したことなどから、円安ユーロ高基調となりました。

●運用実績の推移および運用方針

- ①当期の運用実績の推移 特別勘定の運用状況をご参照ください。
- ②当期の運用方針 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
- ③今後の運用方針 当社は、今後とも特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2023年度決算(決算日：2024年3月31日)を行いました。当資料は2023年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート(2024年4月発行(2024年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳(2023年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス55MU	
現預金・コールローン		0
有価証券		6
公社債		-
株式		-
外国証券		-
公社債		-
株式等		-
その他の証券		6
貸付金		-
その他		-
貸倒引当金		-
合計		7

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2023年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス55MU	
利息配当金等収入		0
有価証券売却益		-
有価証券償還益		-
有価証券評価益		3
為替差益		-
金融派生商品収益		-
その他の収益		-
有価証券売却損		-
有価証券償還損		-
有価証券評価損		2
為替差損		-
金融派生商品費用		-
その他の費用及び損失		-
収支差額		0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2023年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス55MU	三菱UFJバランスファンド55VA (適格機関投資家限定)	-	-	145	137

※単位未満切捨て

●保有契約高(2023年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険GF 三味一体(世界バランス55MU)	2	7

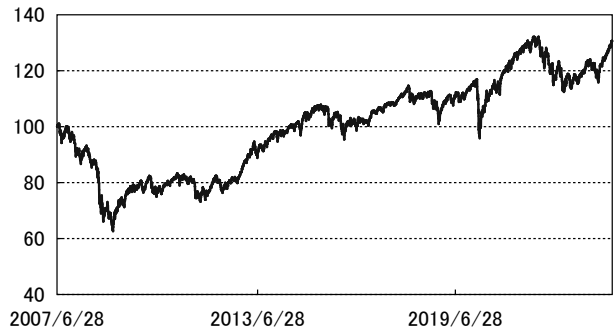
※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス55MU	三菱UFJバランスファンド55VA (適格機関投資家限定)	三菱UFJ アセット マネジメント	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式10%、外国株式(為替ヘッジあり)45%、外国債券(為替ヘッジなし)15%、日本債券(短期金融資産を含む)30%です。

●特別勘定の運用状況(2023年度末)

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2024年3月末現在まで)
2023年3月31日	117.83	0.75%	10.86%
2023年4月30日	118.99	0.98%	9.78%
2023年5月31日	119.83	0.70%	9.01%
2023年6月30日	122.93	2.59%	6.26%
2023年7月31日	123.76	0.67%	5.55%
2023年8月31日	122.63	-0.91%	6.52%
2023年9月30日	119.46	-2.58%	9.34%
2023年10月31日	116.27	-2.67%	12.34%
2023年11月30日	122.12	5.03%	6.96%
2023年12月31日	124.42	1.88%	4.99%
2024年1月31日	126.28	1.50%	3.44%
2024年2月29日	128.27	1.57%	1.84%
2024年3月31日	130.63	1.84%	-

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比
投資信託	6	97.6%
現預金その他	0	2.4%
純資産総額	7	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。
※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■ファンドの特色

- ①日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
- ②日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、TOPIXマザーファンド受益証券10%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券45%を標準資産配分とし、これを維持します。
- ③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。

■基準価額および純資産総額の推移



■ 純資産総額【右目盛】 ■ 基準価額【左目盛】 ■ 参考指数【左目盛】

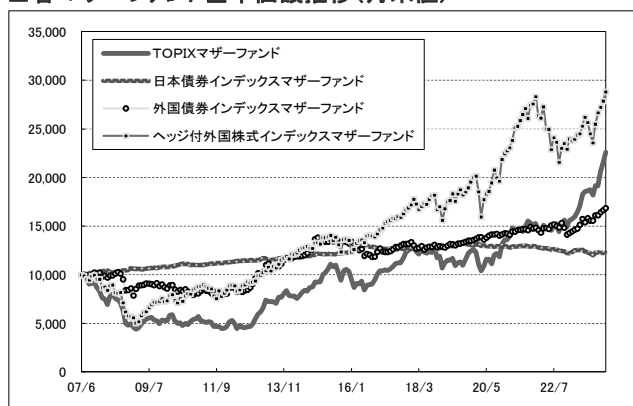
- ・基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
- ・参考指数はNOMURA-BPI総合インデックス30%、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）10%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）15%、MSCIロクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円ベース）45%で組み合わせた合成指数です。なお、NOMURA-BPI総合インデックス、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）については設定日前営業日を、MSCIロクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円ベース）については設定日翌営業日をそれぞれ計算の起点としています。
- ・参考指数は、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.1%	5.8%	11.0%	14.1%	14.4%	103.3%
参考指数	2.1%	5.9%	11.0%	14.1%	15.1%	108.8%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

■各マザーファンド基準価額推移（月末値）



- ・グラフは三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日（ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンドは設定日）を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	20,332円
前月末比	+420円
純資産総額	0.07億円
前月末比	+0.00億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第17期	2024/02/20	0円
第16期	2023/02/20	0円
第15期	2022/02/21	0円
第14期	2021/02/22	0円
第13期	2020/02/20	0円
第12期	2019/02/20	0円
設定来累計		0円

■資産構成

	標準 資産配分	比率
国内株式	10.0%	10.3%
国内債券	30.0%	29.5%
外国株式（ヘッジあり）	45.0%	45.9%
外国債券	15.0%	14.7%
コールローン他	0.0%	-0.4%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.4%	18.1%	20.6%	41.4%	52.6%	125.9%
ベンチマーク	4.4%	18.1%	20.5%	41.3%	52.5%	124.0%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	99.8%
内 現物	98.2%
内 先物	1.6%
コールローン他	0.2%

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 電気機器	17.1%	17.4%
2 輸送用機器	9.3%	9.5%
3 卸売業	7.3%	7.4%
4 銀行業	7.3%	7.4%
5 情報・通信業	7.1%	7.3%
6 化学	5.6%	5.7%
7 機械	5.5%	5.6%
8 サービス業	4.4%	4.5%
9 医薬品	4.2%	4.3%
10 小売業	4.1%	4.2%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 2,147銘柄

銘柄	比率	ベンチマーク 構成比
1 トヨタ自動車	5.2%	5.3%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.3%	2.4%
3 ソニーグループ	2.3%	2.3%
4 東京エレクトロン	2.1%	2.1%
5 三菱商事	1.8%	1.8%
6 キーエンス	1.7%	1.8%
7 日立製作所	1.7%	1.7%
8 三井住友フィナンシャルグループ	1.6%	1.6%
9 信越化学工業	1.5%	1.5%
10 三井物産	1.4%	1.4%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

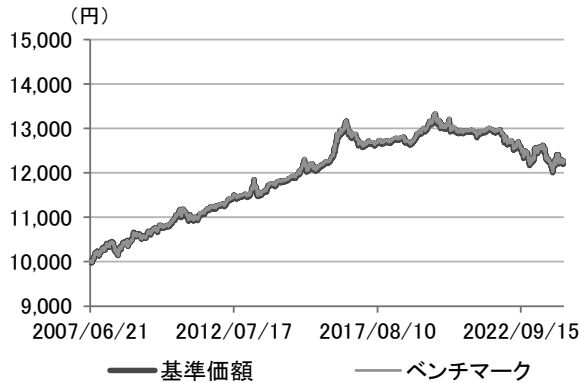
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.1%	-0.5%	0.4%	-2.2%	-4.9%	22.5%
ベンチマーク	-0.1%	-0.5%	0.4%	-2.2%	-5.0%	22.7%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	0.7%	0.7%
デュレーション	9.0	8.9

■種別組入比率

種別	比率
国債	86.0%
政保債	1.1%
地方債	5.5%
金融債	0.3%
事業債	6.1%
円建外債	0.3%
MBS	1.4%
ABS	0.1%

■資産構成

	比率
実質国内債券	100.8%
内 現物	100.7%
内 先物	0.1%
コールローン他	-0.8%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.1%
1～3年	20.3%
3～7年	28.7%
7～10年	16.6%
10年以上	34.9%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 883銘柄					
銘柄	種別	クーポン	償還日	比率	
1 第163回利付国債(5年)	国債	0.4000%	2028/09/20	1.6%	
2 第149回利付国債(5年)	国債	0.0050%	2026/09/20	1.3%	
3 第365回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/12/20	1.1%	
4 第358回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2030/03/20	1.1%	
5 第373回利付国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.1%	
6 第370回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2033/03/20	1.0%	
7 第364回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/09/20	1.0%	
8 第154回利付国債(5年)	国債	0.1000%	2027/09/20	1.0%	
9 第363回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/06/20	1.0%	
10 第362回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/03/20	1.0%	

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA-BPI総合インデックスとは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）を（ベンチマークは設定日の翌営業日）10,000として指数化しています。
- ・ベンチマークは、MSCIロクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円ベース）です。

■騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.4%	8.1%	17.6%	20.3%	21.0%	188.2%
ベンチマーク	3.4%	8.1%	17.2%	19.7%	20.0%	177.0%

- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・ベンチマークの設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の翌営業日を起点として計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 ソフトウェア・サービス	9.7%
2 半導体・半導体製造装置	8.0%
3 医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.6%
4 資本財	6.9%
5 金融サービス	6.5%
6 メディア・娯楽	6.1%
7 テクノロジ・ハードウェア・機器	5.4%
8 銀行	5.3%
9 一般消費財・サービス流通・小売り	4.7%
10 エネルギー	4.5%

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	72.4%
2 イギリス	3.9%
3 フランス	3.2%
4 カナダ	3.1%
5 スイス	2.5%
その他	10.5%

■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.7%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	3.9%
3 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.5%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.6%
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
7 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.2%
8 ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.0%
9 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.9%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.9%

■組入通貨

通貨	比率
1 日本円	98.9%
2 米ドル	0.9%
3 ユーロ	0.0%
4 英ポンド	0.0%
5 カナダドル	0.0%
その他	0.0%

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.8%
内 現物	95.6%
内 先物	5.2%
コールローン他	-0.8%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS（世界産業分類基準）で分類しています。・組入通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率です。為替ヘッジ相当分は日本円で表示されます。・MSCIロクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円ベース）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIロクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.3%	4.4%	8.1%	15.0%	16.7%	68.6%
ベンチマーク	1.3%	4.4%	8.2%	15.2%	16.9%	69.0%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.7%	3.7%
デュレーション	6.6	6.6

■公社債通貨別組入比率

通貨	比率
1 米ドル	46.4%
2 ユーロ	31.7%
3 中国元	8.7%
4 英ポンド	5.2%
5 カナダドル	2.0%
その他	4.8%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.1%
1～3年	26.9%
3～7年	34.2%
7～10年	13.8%
10年以上	23.9%

■組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 4.5 T-NOTE 331115	国債	4.5000%	2033/11/15	アメリカ	0.5%
2 3.875 T-NOTE 330815	国債	3.8750%	2033/08/15	アメリカ	0.5%
3 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.4%
4 4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.4%
5 2.75 T-NOTE 320815	国債	2.7500%	2032/08/15	アメリカ	0.4%
6 3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	0.4%
7 3.375 T-NOTE 330515	国債	3.3750%	2033/05/15	アメリカ	0.4%
8 2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.4%
9 1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.4%
10 1.875 T-NOTE 320215	国債	1.8750%	2032/02/15	アメリカ	0.4%

組入銘柄数: 974銘柄

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）とは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）をもとに、委託会社が計算したものです。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項目	内容	費用	備考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率 0.275% 程度(税抜0.25%程度)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.275%程度/365日を乗じた額を毎日控除します。
年金支払期間中	保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0% 以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品をご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。

また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

<p>【募集代理店】</p>	<p>【引受保険会社】</p> <p>東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/</p> <p>ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ ☎ 0120-155-730</p> <p>受付時間 平日 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)</p>
----------------	--



200401